

こどもの急病 ～上手な受診のしかた～



上手な受診のしかた

1、「かかりつけ医」をもちましょう。

ふだんから、こどもの健康管理について相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう。それぞれのこどもに合った助言や指導が受けられるようにし、急病時の対応についても聞いておきましょう。

2、受診はできるだけ診療時間内に。

医師や看護師などスタッフが揃っており、検査その他の診療体制が整っている通常の診療時間内に受診しましょう。

3、こどもの症状や様子がわかる人が付き添いましょう。

受診時は、こどもの症状や様子、食事状況などがわかる人が付き添いましょう。症状・経過等、飲んでいる薬などをメモしておく、受診時の病状説明に役立ちます。

夜間や休日に急病になった場合は・・・

赤ちゃんやこどもは、発熱したり、下痢をしたりしても、症状を自分の言葉で説明できないことがほとんどです。どんな時に急いで病院にかかるべきか……。保護者の方は落ち着いてこどもの状態を観察し、「ふだんの症状と様子が違うか」という点に注意をはらっていただきたいものです。

● 食欲がある、水分はとれている、機嫌が良い、元気、眠れる、おしっこの回数は普段どおり・・・などの状況では、しばらく様子を見て、診療時間に「かかりつけ医」を受診しましょう。

● 次のようなときは、早めに救急外来を受診した方がよいでしょう

- 1、生後3か月未満の赤ちゃんの高熱（概ね38℃以上）
- 2、顔色が悪く、ぐったりしている
- 3、激しく泣き、あやしても泣き止まないでぐずっている
- 4、眠ってばかりで呼びかけてもすぐに眠る
- 5、呼吸の様子がおかしい
- 6、水分を受け付けない。おしっこが半日くらい出ない
- 7、嘔吐や下痢をくりかえし、ぐったりしている



関連情報

①こども救急相談ダイヤル（小児科医の支援体制のもとに看護師と保健師が相談に応じます）

365日／20時から翌朝8時

携帯電話・プッシュ回線 #8000

ダイヤル回線・IP電話など 06(6765)3650

②誤飲・誤食をしたとき 365日／24時間対応

（財）日本中毒情報センター（中毒110番） 072-727-2499

タバコ専用電話 072-726-9922

③こどもの救急 ホームページ（夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供しています。）

アドレス : <http://kodomo-qq.jp/>